

総務常任委員会資料
2021年(令和3年)3月5日
政策局シティセールス推進室天文科学館

日本標準時制定 135 周年記念事業の実施について

天文科学館では日本標準時制定 135 周年を記念した事業を下記のとおり実施していきます。

記

1 令和2年度の取り組み

明石市立天文科学館は 1960 年(昭和 35 年)6月 10 日に開館しました。2020 年に開館 60 周年となり、開館日である「時の記念日」は 100 周年を迎えました。

本年度については、新型コロナウイルス感染症の拡大により、当初予定していた集客イベントに替えて、「全国天文台子午線リレー」や「夕焼けパンダ見てみ隊」などのオンライン企画や山陽電鉄とのコラボイベントなど、新しい取り組みを柔軟に工夫しながら行ってきたところです。

2 日本標準時制定 135 周年記念事業について

令和3年度に、日本標準時制定 135 周年を迎えることから、引き続き「時のまち」として、コロナ禍にあっても、本年度の取り組みで得たノウハウを活かし、市民に明るい話題を提供し、まちへの愛着を高めるとともに、明石市の魅力を全国に発信しようとするものです。

3 事業内容(予定)

- ・プラネタリウム投影「時報の出るまで」
- ・特別展「たのしい時計展(仮称)」
- ・講演会(関係団体との連携)
- ・シゴセンジャー、シゴセンオーによるこども向けイベントの実施
- ・オリジナルグッズの製作
- ・YouTube チャンネルを利用したオンラインイベントの実施
- ・天文科学館サテライト(パピオス5階)による情報発信
- ・ホームページ・リニューアル
(わかりやすい情報発信、展示物やイベントとの連携)

4 実施時期

2021 年(令和 3 年)6 月～7 月頃(予定)

【参考】日本標準時子午線 関連年表

- 671年 天智天皇が漏刻(水時計)で時を知らせる
(時の記念日の由来)
- 1884年 国際子午線会議
1886年7月 日本標準時制定
東経135度子午線上の時刻が日本標準時に
1888年1月1日 日本標準時 施行
- 1910年 明石に最初の子午線標識 建立
1920年 時の記念日 誕生
(東京教育博物館の「時」展覧会が契機)
- 1960年 明石市立天文科学館 開館
1961年 日本標準時制定75周年
1986年 日本標準時制定100周年
2020年 明石市立天文科学館 開館60周年
「時の記念日」100周年
- 2021年 日本標準時制定 135周年
天智天皇の故事から 1350周年

【令和2年度の取り組みの様子】



時の記念日オンラインイベント 全国天文台子午線リレー(6月10日)



夕焼けパンダ(10月12日)



山陽電車シゴセンゴー運行
(11月14日～12月18日)